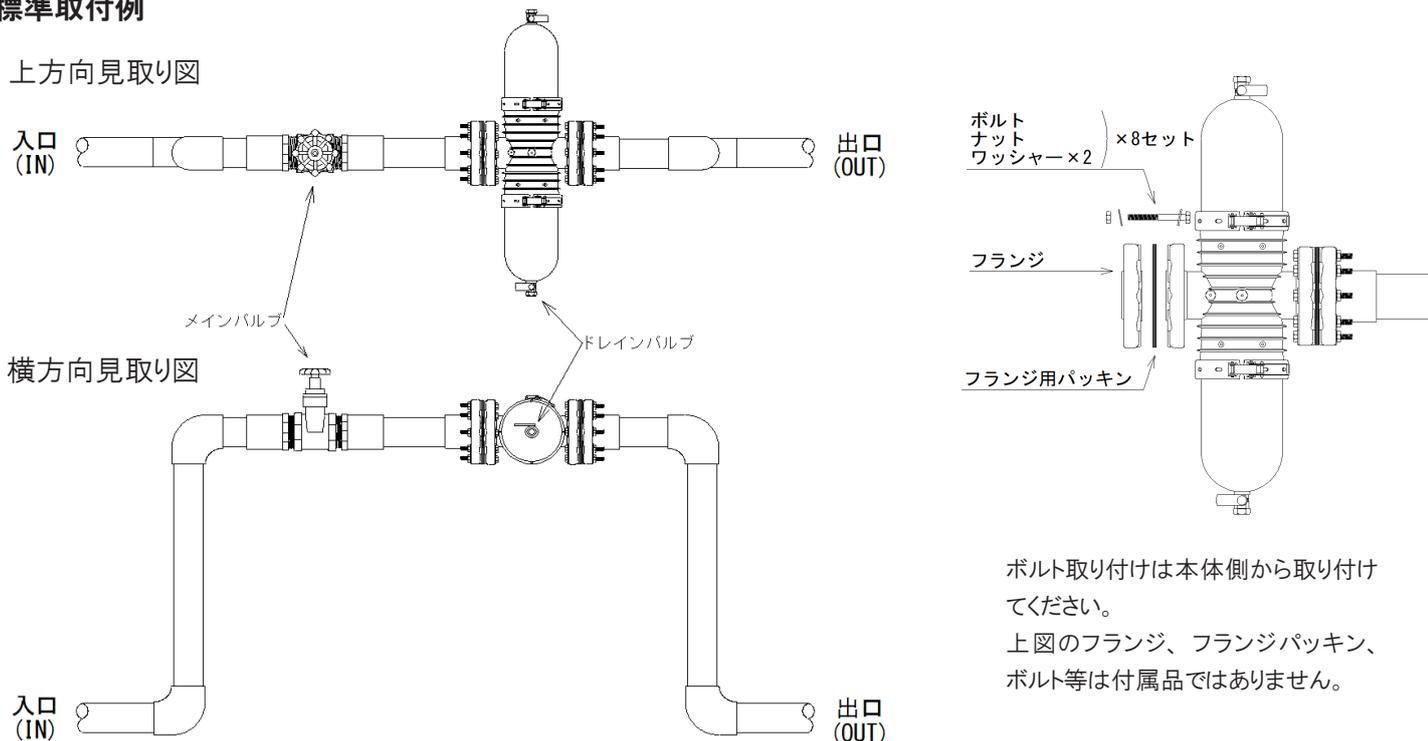


標準取付例


ボルト取り付けは本体側から取り付けてください。
 上図のフランジ、フランジパッキン、ボルト等は付属品ではありません。

《配管時の注意》

1. ディスクフィルターの本体にある IN・OUT の表示に従って下さい。
2. 本体の取付には、1.0MPa 耐圧のフランジを利用して下さい。(別売り)
3. ディスクフィルターは、カバーを外して掃除をしますで取付の際は、カバーを外せるよう余裕を持って設置して下さい。
4. 凍結の恐れがある場合は、ドレインバルブ (排水バルブ) を開けディスクフィルター内の水を抜いて下さい。

《取り付けに必要な部材》

フランジ 10k	2 個
フランジパッキン 10k	2 枚
ボルト M16 × 100	16 本
ナット M16	16 個
ワッシャー M16	32 枚

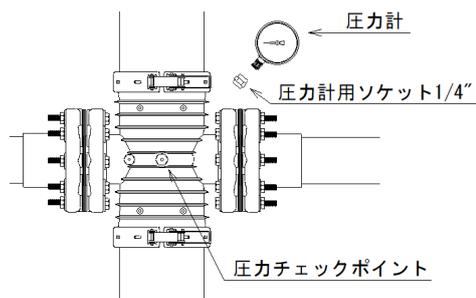
※フランジ、フランジパッキン、ボルト等は付属品ではありませんのでご注意ください。

《注意》

使用圧力は、最大 1.0Mpa (10kg/cm²) です。それ以上の圧力で使用されることは危険ですのでお止め下さい。
 通水中に本体バンドをゆるめるとカバーが飛び出し危険ですので、本体バンドを操作する場合は必ずメインバルブを閉めて、本体の排水をしてから行って下さい。

フィルターの圧力測定とディスクエレメントのクリーニングの目安

1. ディスクフィルターには、圧力を測定する圧力チェックポイント (右図) がありますので、圧力計 (別売り) を使用して簡単に圧力の測定が出来ます。
2. ディスクフィルターの出口 (二次側) の圧力チェックポイントに、圧力計をセットし圧力を測定して下さい。
3. ディスクエレメントの目詰りを知るには、先ずディスクフィルター配管直後 (ディスクエレメントがきれいな時) の通水時に出口 (二次側) 圧力を測定しておきます。後に目詰りしてくると、圧力の低下がおきてきます。圧力低下が 0.05MPa (0.5kg/cm²) になったらディスクエレメントの掃除の時期です。カバーを外しディスクエレメントの掃除をして下さい。



ディスクエレメントのクリーニング

1. 必ず入口側のバルブを閉めてから排水バルブを開け、フィルター内の圧力が完全に抜けたのを確認してから、作業を始めて下さい。
2. フィルターの中央にあるクランプの止め金を外して下さい。
3. フィルターカバーとクランプを取り外します。この時、カバーに付いているハイドリクシールをなくさないようにして下さい。
4. 軸用ナットをゆるめ、ディスクエレメントの根元側をずらしてスパインホルダーのツメをスパインから外して下さい。
5. ディスクエレメントセットを、フィルターボディーから引きぬいて、取り外して下さい。
6. 延長軸を伸ばしディスクの集合体がバラバラになったら、清水の中で漬け洗いするか、清水をかけてゴミを洗い流して下さい。
7. ゴミがしつこい場合は、タワシや歯ブラシ等で取り除いて下さい。
8. ディスクがきれいになったら延長軸を戻し、次に軸用ナットを手で回しながら締めて下さい。
9. 外した時と逆の手順で、フィルターボディーにディスクエレメントセットを差込んで、受け側の溝にしっかり納まるように少しずつ回転させセットして下さい。フィルターカバーをはめ、最後にクランプをはめて止め金を締めて下さい。
10. 反対側も同様に掃除を行ってください。

※ 掃除後、カバーを取り付ける際、うまく装着できない場合、ハイドリクシールにシリコングリースを塗布して下さい。装着しやすくなります。

ディスクエレメントの溝に付着した藻類等の有機物や鉄分（さび）の除去方法

清水での漬け洗いで落ちづらい残留物については、塩酸による薬品処理である程度除去することが可能です。薬局にて市販の希塩酸を5%濃度に薄めた溶液に、ディスクエレメントを半日程度浸した後、清水でよく洗い流して下さい。

《危険》

取扱に十分な注意が必要です。薬品取扱い者の指示にしたがって使用して下さい。

